

■ タイトル

鉄筋束の荷卸し中に端太角材と鉄筋束の間に指を挟まれ負傷

■ 基本情報〔土木・**建築**〕

災害発生日	2012年 10月			
災害属性	被災程度	人災	被災者属性	-
被災者	職種	-	年齢	- 歳
	経験年数	- 年	就労日数	- 日
災害情報	型別	はさまれ	起因別	クレーン
機械属性	機種	ラフタークレーン	能力	50 t
	仕様	-	その他	-

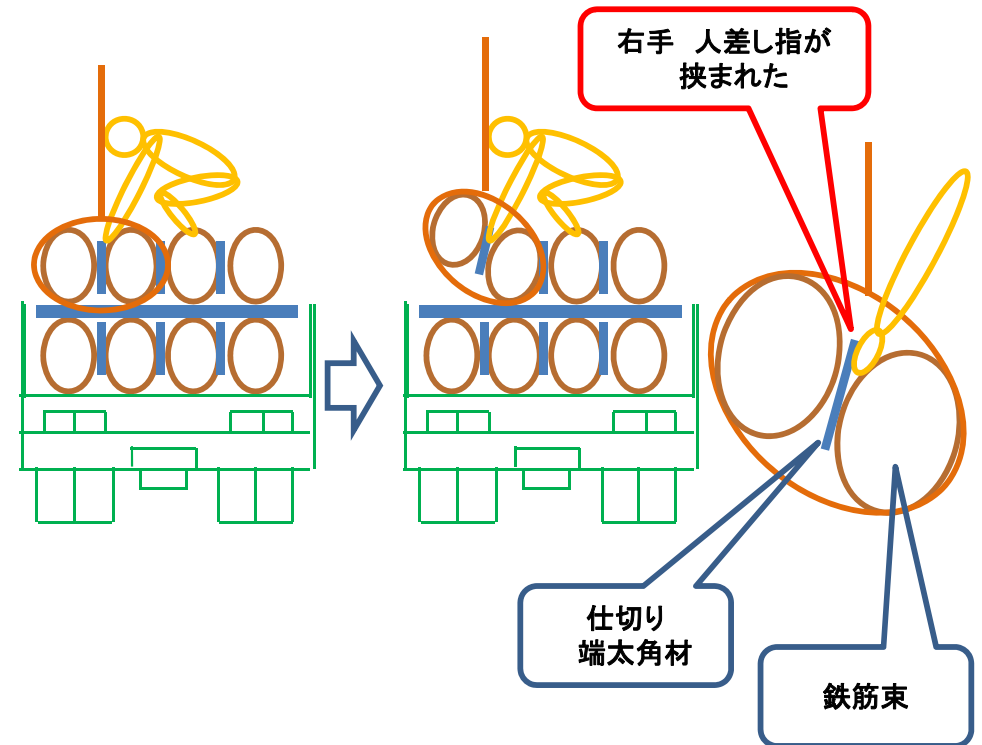
■ 事故・災害発生状況

現場に搬入した加工済みの鉄筋に対して、50tラフターで2束ずつ荷卸しを行おうとしたが、地切り後に荷姿がくずれたため、仕切りのバタ角材と鉄筋束の間に右手人差し指が挟まれ負傷した。

■ 発生要因（WG想定含む）

- ① 本来ならば1束ずつ荷下ろしを行うところを、時間短縮の為に鉄筋束を2束ずつ玉掛けした。
- ② 荷崩れしやすい吊り荷の中に、直接手を入れてバタ角材を抑えようとした危険予知意識の欠如
- ③ 請負者側がスポット業者などの軽微な作業に対する認識が甘く、作業手順の確認がなされていなかった。

■ 発生状況図



■ 再発防止対策（WG想定含む）

- ① 安易な近道行為をさせないように、職員が荷卸しに立ち会う
- ② 鉄筋束の様なバラ物は荷崩れがしやすいことを周知徹底させ、安易な行動をとらないよう教育を行う。
- ③ 朝礼後のミーティングに全員を参加させ、作業手順の確認を行い、実施してることを確認する。